

「EPAに基づく看護師・介護福祉士候補者」集計表
 ～【EPA介護福祉士（国家試験合格者）回答】～

問1 あなたの職場はどれですか。

	回答数	構成比
(1) 病院	4	17.4%
(2) 特別養護老人ホーム	18	78.3%
(3) 老人保健施設	1	4.3%
(4) 障害者施設	0	0.0%
(5) その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	23	100.0%

問2 あなたの立場はどれですか。

	回答数	構成比
(1) 第一陣フィリピン人看護師候補者	0	0.0%
(2) 第一陣フィリピン人介護福祉士候補者	0	0.0%
(3) 第二陣インドネシア人看護師候補者	0	0.0%
(4) 第二陣インドネシア人介護福祉士候補者	0	0.0%
(5) 第二陣フィリピン人看護師候補者	0	0.0%
(6) 第二陣フィリピン人介護福祉士候補者	0	0.0%
(7) 第三陣インドネシア人看護師候補者	0	0.0%
(8) 第三陣インドネシア人介護福祉士候補者	0	0.0%
(9) 第三陣フィリピン人看護師候補者	0	0.0%
(10) 第三陣フィリピン人介護福祉士候補者	0	0.0%
(11) 第四陣インドネシア人看護師候補者	0	0.0%
(12) 第四陣インドネシア人介護福祉士候補者	0	0.0%
(13) 第四陣フィリピン人看護師候補者	0	0.0%
(14) 第四陣フィリピン人介護福祉士候補者	0	0.0%
(15) 第五陣インドネシア人看護師候補者	0	0.0%
(16) 第五陣インドネシア人介護福祉士候補者	0	0.0%
(17) EPA看護師	0	0.0%
(18) EPA介護福祉士	23	100.0%
(19) その他（准看護師など）	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	23	100.0%

問3 年齢

	回答数	構成比
(1) ～25歳以下	1	4.3%
(2) 26歳以上～30歳以下	11	47.8%
(3) 31歳以上～35歳以下	7	30.4%
(4) 36歳以上～	4	17.4%
無回答	0	0.0%
計	23	100.0%

問4 性別

	回答数	構成比
(1) 男	4	17.4%
(2) 女	19	82.6%
無回答	0	0.0%
計	23	100.0%

問5 EPA候補者として来日をして率直な気持ちを聞かせてください。

	回答数	構成比
(1) 国家試験に合格をして、これからも10年以上は日本で仕事をしたい	7	30.4%
(2) 国家試験に合格して、1~3年くらい日本で仕事をしたい	9	39.1%
(2) EPA滞在期間(3年、4年)は満了をして帰国をしたい	3	13.0%
(3) 今すぐにでも帰国をしたい→ 問6へ	0	0.0%
無回答	4	17.4%
計	23	100.0%

問6 問5で「今すぐにでも帰国をしたい」と答えた方にお聞きします。なぜ、帰国をしたいと思ったのですか。

	回答数	構成比
(1) 日本での生活が合わない	0	0.0%
(2) 勉強が辛い	0	0.0%
(3) 仕事が辛い	0	0.0%
(4) 病院、施設の日本人職員との関係がうまくいかない	0	0.0%
(5) 母国の家族が心配だから	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	0	0.0%

問7 EPAに応募する前から日本語が出来ましたか。

	回答数	構成比
(1) 勉強していたので日本語は出来ていた	2	8.7%
(2) 少しだけ日本語が出来ていた	11	47.8%
(3) 日本語は出来なかった	9	39.1%
無回答	1	4.3%
計	23	100.0%

問8 今後どのような仕事をしたいと思いますか。(複数回答者あり)

	回答数	構成比
(1) 日本で看護師として働きたい	7	21.9%
(2) 日本で介護福祉士として働きたい	11	34.4%
(3) 日本で日本語を活かした別の仕事をしてみたい	3	9.4%
(4) 母国に帰って看護師として働きたい	2	6.3%
(5) 母国に帰って介護の仕事を広めたい	2	6.3%
(6) 母国に帰って日本語を活かした別の仕事をしてみたい (例：日系企業など)	4	12.5%
(7) 日本で大学に入学したい	2	6.3%
(8) 母国で大学に入学したい	1	3.1%
(9) その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	32	100.0%

問12-1 毎日の平均的な学習時間は何時間ですか。〔平日(仕事のある日)〕

	回答数	構成比
(1) なし	3	13.0%
(2) 1時間	5	21.7%
(3) 2時間	2	8.7%
(4) 3時間	0	0.0%
(5) 4時間	2	8.7%
(6) 5時間以上	1	4.3%
無回答	10	43.5%
計	23	100.0%

問12-2 毎日の平均的な学習時間は何時間ですか。〔休日(仕事のない日)〕

	回答数	構成比
(1) なし	3	13.0%
(2) 1時間	4	17.4%
(3) 2時間	2	8.7%
(4) 3時間	1	4.3%
(5) 4時間	1	4.3%
(6) 5時間以上	1	4.3%
無回答	11	47.8%
計	23	100.0%

問13 今の学習時間についてどう考えていますか。

	回答数	構成比
(1) 十分足りている	5	21.7%
(2) もっと時間がほしい	2	8.7%
(3) 今はあまり勉強をしていない	7	30.4%
無回答	9	39.1%
計	23	100.0%

問14 学習を支援してくれている、あてはまる人・学校をすべて選んでください。(複数回答)

	回答数	構成比
(1) 職場の管理職	3	7.0%
(2) 職場の医師	0	0.0%
(3) 職場の看護師・介護福祉士	3	7.0%
(4) 職場の教育担当者	8	18.6%
(5) 日本語教師	8	18.6%
(6) 日本語ボランティア	6	14.0%
(7) 国家試験対策専門の教師	2	4.7%
(8) 国家試験対策のボランティア	0	0.0%
(9) 看護学校・介護系専門学校	0	0.0%
(10) 予備校	0	0.0%
(11) 通信教育	0	0.0%
(12) 友人・知人	1	2.3%
(13) なし	0	0.0%
無回答	12	27.9%
計	43	100.0%

問15 EPAに基づく候補者として日本に来たことに満足していますか。

	回答数	構成比
(1) 満足	11	47.8%
(2) どちらかといえば満足	8	34.8%
(3) どちらともいえない	2	8.7%
(4) どちらかといえば不満	0	0.0%
(5) 不満	0	0.0%
無回答	2	8.7%
計	23	100.0%

問16 日本以外で看護または介護の仕事をしたい国があったら書いてください。またそれはなぜか理由も教えてください。

	回答数	構成比
(1) 記述有	6	26.1%
無回答	17	73.9%
計	23	100.0%

(複数回答者あり)		回答数	構成比
(1) カナダ		2	22.2%
(2) アメリカ		2	22.2%
(3) イギリス		2	22.2%
(4) ニュージーランド		1	11.1%
(5) アラビア		1	11.1%
(6) カタール		1	11.1%
計		9	100.0%

・カナダで介護の仕事をしたいです。なぜかと言うとカナダで仕事をして2年間後国籍を取得する可能性があります。(EPA介護福祉士)

・アメリカ(EPA介護福祉士)

・アメリカ、カナダ、中東。言葉の壁がないから。(EPA介護福祉士)

・ロンドンでも看護の仕事をしたいです。わたしはこどもがいるので、一緒に暮らしたいですが、日本での学校は日本語ばかりで、行けないと思う。インターナショナルスクールでは、高いです。(EPA介護福祉士)

・アラビア、メカーにちかいから。お祈りしに行きたい。(EPA介護福祉士)

・ニュージーランドとカタール。・イギリスは看護として。(EPA介護福祉士)

などの理由があげられました。

問17 友人や家族に、EPAに基づく看護師・介護福祉士候補者として日本に来ることを勧め

	回答数	構成比
(1) 勧める	13	56.5%
(2) どちらかといえば勧める	6	26.1%
(3) どちらともいえない	1	4.3%
(4) どちらかといえば勧めない	0	0.0%
(5) 勧めない	0	0.0%
無回答	3	13.0%
計	23	100.0%

問18 その他、ご自由にご意見をお書きください。

	回答数	構成比
(1) 記述有	3	13.0%
無回答	20	87.0%
計	23	100.0%

自由記述

(一部抜粋)

施設自由記述の傾向・・・自由記述に多かったコメント

- ① EPA制度、国に対する訴え・感想
- ② その他

① EPA制度、国に対する訴え・感想

●介護福祉士候補者としてEPAについて、私の意見は、もしEPAの候補者は国家試験が失敗したら、すぐ帰国をしないで、入った施設に評価を得る。そして、その評価の結果が良かったら最初の契約は3年間だけど、2年間ぐらいを延長してほしい。3回ぐらいを試験受けることができるので、その間に合格する可能性があると思います。一年間の日本語の勉強が免除されている候補者はその替りに専門用語と記録の勉強を集中してほしい。(EPA介護福祉士)

●質問16で答えた通り、日本語の障壁がひとつの問題です。カナダやアメリカのような英語圏では同僚とのコミュニケーションに支障はないのですが。私は仕事場におけるコミュニケーションはお互いを理解する上で必要な要素だと思っています。そして、有能なケアワーカーとなるため、仕事に関する知識や情報を獲得する手段ともなり、また、私たちが自由に自分の考えや意見を表明するのにも必要だと思っています。

次の問題は有給の問題です。

中東の保健省の看護師や介護士は10か月の仕事をすると2か月の休みがもらえ、交通費や宿泊費も支弁されます。給料は無税です。何を言いたいかというと、日本における有給10日間は短すぎるので、私たちのようなフィリピン労働者にはもっと長い休日が必要だということです。というのはフィリピンに帰国すると、いろいろ用事があります。フィリピン市民として、休暇だけではなく税金を払ったり、書類を更新したり、残業時にはできないRRCライセンスの手続きをするなどの義務があるからです。ですから、10日間では不十分なので、もっと有給休暇がほしいのです。(EPA介護福祉士)

② その他

●日本に来て本当によかった！(EPA介護福祉士)